

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和05年01月20日

計画の名称	幸田町における循環のみちの実現												
計画の期間	令和05年度 ～ 令和09年度 (5年間)												
交付対象	幸田町												
計画の目標	下水道の整備を行い、安全・安心、快適な暮らしを実現し、良好な生活環境を創造する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	100	A	100	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 R5当初	中間目標値 R6末	最終目標値 R9末
1	下水道による北部処理分区の整備率を94%(R5)から100%(R6)に増加させる。 北部処理分区の整備率 整備済延長(m) / 計画延長(m)	94%	100%	100%
2	下水道ストックマネジメント計画に基づき、管きよ等の点検・調査延長を0%(R5)から100%(R9)に増加させる。 管きよ等の点検・調査 管きよ等の点検・調査済延長(m) / 計画延長(m)	0%	40%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業																				
基幹事業（大）	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R05	R06	R07	R08	R09				
		一体的に実施することにより期待される効果																		
		備考																		
下水道事業	A07-001	下水道	一般	幸田町	直接	幸田町	管渠（ 污水）	新設	北部処理分区	下水道管 L=100m	幸田町	■	■				80		—	
	A07-002	下水道	一般	幸田町	直接	幸田町	管渠（ 污水）	改築	下水道ストックマネジ メント	点検・調査 L=8,000 m	幸田町	■	■	■	■	■	20		策定済	
			下水道ストックマネジメント計画																	
												小計						100		
											合計							100		

事前評価チェックシート

計画の名称： 幸田町における循環のみちの実現

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 上位計画（社会資本整備重点計画、知多湾等流域別下水道整備総合計画）と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 矢作川・境川流域関連幸田町公共下水道事業計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 3) 関連する他事業（矢作川流域下水道事業）の計画と適合している。	○
I. 目標の妥当性 4) 各種事業計画（幸田町公共下水道事業計画）が策定され、適合している。	○
I. 目標の妥当性 5) 各種法令（都市計画法、下水道法等）を順守している。	○
I. 目標の妥当性 ②地域の課題への対応	
I. 目標の妥当性 地域の課題と整備計画の目標の整合性が図られている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量式指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 ②事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○

計画の名称	幸田町における循環のみちの実現		
計画の期間	令和5年度～令和9年度	交付対象	愛知県額田郡幸田町

